



# ニュースレター あすか

2014  
4月号

通算 253号

2014年4月10日



フレッシュマンを迎えて新しいあすかのスタートです

## 平成26年度 医療法人あすか 入社式

日時 平成26年4月3日  
場所 広島アンデルセン

今年の入社式と歓迎会は4月3日(木)アンデルセンで行いました。毎年この時期は桜が満開です。雨模様の肌寒い日でしたが、一歩お店に入ると暖かい春が飛び

込んできました。アンデルセンで入社式を始めてもう10年以上になります。春の訪れを五感で感じさせてくれる素敵なお店です。4月1日入社の方のフレッシュマンは18名でした。

とともに生き、ともに輝く



理事長のあいさつ

まだ新人研修の途中で緊張の面持ちの新入職員でしたが、歓迎会では先輩たちの暖かい歓迎を受けて笑顔いっぱいでした。入社式では新人歓迎のセレモニーに加えて、昨年の忘年会以降入社者の職員紹介、永年勤続者表彰式、安全運転者の表彰式も合わせて行っています。医療法人あすかの職員が気持ちを一っにして新しいスタートを切る大切な機会となっています。

理事長からは、新入職員に対して、あすかの社是である『ともに生き、ともに輝く』仲間となったことのお祝いの言葉と、今年11月開設予定の【あすかケアプラザ】へ向けてのお話がありました。

新入職員代表のスピーチは北本有輝さんでした。仕事への熱意、責任、そして夢を熱く語り、社会人としての力強い決意表明がありました。北本さんは、あすかの事業所でアルバイトをしながら福祉専門学校に通い、今年4月に正職員として入社された介護福祉士です。優しくて思いやりがあり、

(次のページへ続く...)

“ニュースレターあすか”は当法人のホームページ上でも  
見ることができます

<http://www.asuka-net.or.jp>

発行元：医療法人あすか

(編集：新宅 佳那子)

住所：〒731-0103

広島市安佐南区緑井2丁目12-25

TEL:082-879-3143

FAX:082-879-3190

### 【目次】

### 【ページ】

- 1. 平成26年度 入社式①..... 1
- 平成26年度 入社式②..... 2
- 2. 新人研修2014①..... 3
- 新人研修2014②..... 3
- 3. 事業所だより(みどりい、つどい)..... 4
- 事業所だより(まやる)..... 5
- 4. 作品紹介(しゅりあ)..... 6
- 5. 事業所だより(いわや、しゅりあ)..... 6
- 6. 第61回 あすか交流会..... 7
- 7. わたしの好きなもの 第5回..... 8
- 8. ノルディックウオーク Now ☆その8..... 8

(…前のページからの続き)

利用者の方々、職員からの厚い信頼を受けています。



新入職員代表 北本さん

歓迎会では先輩たちからの歓迎のゲーム、美味しいお料理を楽しみました。

閉会の挨拶では、私の小児科入局1年目の体験をお話させていただきました。先輩の先生から何か質問され「教えてもらっていないので知りません」と答えたなら、「あなたはもう学生ではない。社会人として働いているのだから教えてもらっていないから出来ないというのは甘えている。分らないかったら自分で勉強しろ」と面と向かって言われました。その時には、なんと不親切な先輩なんだろうと思いましたが、これが私の仕事の原点となりました。社会人と

なったからには、教えてもらわないと出来ないという理由は通用しません。

出来ない理由を自分に言い訳して諦めてしまうのと、どうしたら出来るかを考えてやりとげるかはいつの間にかその人の行動パターンとなり習慣となつてきます。そしてその人の人生を決めてしまいます。みなさんはどちらを選択するでしょうか？あすかでは、教育研修を事業計画の最重要課題として取り組んでいます。でも、どんなにいいプログラムや研修に出会っても自らの時間、エネルギーを費やし主体的に能動的に学習しなければ身につけません。みなさんと、仕事に自信と誇りと喜びを持つて『ともに生き、ともに輝く』を実践していきたいと願っています。

(事業部長 高橋 真弓)



# 新人研修 2014

4月からあすかの一員!!

日時 4月1日～5日  
場所 安佐南区総合福祉センター

4月1日(火)～5日(土)の5日間で2014年度の新人研修が行われました。座学だけでなく、実践や体験を交えての研修は、新入職員にとって実り多い貴重な経験になったことと思います。この研修を活かして、立派な『あすか人』として成長していただけることでしょうか。ごく一部ですが、研修風景をご紹介します。

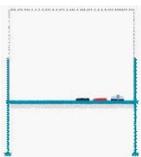
### 【研修内容】

- ・ 医療法人あすかについて
- ・ 社会人・組織人として必要なこと
- ・ 接遇マナー、クレド、個人情報保護
- ・ 介護保険について
- ・ コミュニケーションの基本
- ・ 感染対策
- ・ 介護に必要な医療の知識と感染対策
- ・ 食事と口腔ケア (食事介助)
- ・ 安全管理 (事故防止対策について)
- ・ 認知症の方の理解
- ・ 人権と権利擁護
- ・ 障害高齢者の疑似体験、オムツ体験とグループでのディスカッション
- ・ 介護の基本 (座位、人の身体のしくみと動きなど、基本介助技術訓練など)



あすかの職員としてどうあるかを学びます

研修最終日に【6ヶ月後の自分へ】と【新人研修を終えて】というタイトルで、レポートをかいてもらいました。新入職員の想いも一緒にご覧ください。



# 研修風景



腰を十分に落として立ち上がり介助の練習



実際に負荷を付けて高齢者・障がい者の体験



昼食時間に食事介助の体験



介助の時はグッと腰を落とします



みんな真剣にメモを取っています

## 【新人研修を終えて】

●利用者様の気持ちを考えるというだけではなく、私の考えを相手に的確に伝えることの難しさを実感しました。

(介護職 Hさん)

●5日間みっちり研修する機会はないので、とても良い経験、時間を過ごせたと思いました。この研修で学んだことを初めの一步として、今後、組織の一員として頑張っていこうと思います。

(介護職 Hさん)

●介護という仕事は相手のできないことを全てやるということではなく、相手ができないことをできるように環境をととのえることであり、こちらが全てをやるのではなく、あくまでも相手が主体的になつて動くことができるように、そのサポートをすることが大切であるということを知った。

(介護職 Sさん)

●立たせるのではなく、立っていただけよう援助をすることで、その人の最大限の力を発揮させることができ、自立支援が可能となる。人生の主役は患者様自身なのだから、こちらが動かすのではなく、動いてもらえる援助をすること、1人ひとりに合った環境を整えることがとても大切だと分かった。(看護職 Oさん)

(介護職 Tさん)

## 【6ヶ月後の自分へ】

●「仕事が楽しい」「利用者様と関わる事が出来て嬉しい。良かった」と思う様になつていて欲しいと切実に思っています。

(介護職 Hさん)

●分からないことがあつたら、まずは自分で調べる習慣を身につけるようにしたい。自分の価値観を変えられるように変わっていききたい。

(介護職 Hさん)

●失敗する確率が少しでも0%に近くように努力することを忘れずに仕事に取り組んでいきたい。ご利用者様が不安な思いをしないように、相手の思いを理解し、相手のためにすぐに行動に移すことができるようになりたい。

(介護職 Sさん)

●その人がその人らしく生活を送れるよう、普段からしっかりと観察し、小さな異常にも早く気付けるよう実力をつけていきたい。自己満足や自分勝手な看護をするナースには絶対なりたくない。

(看護職 Oさん)

●6ヶ月後の自分がどんな姿になつているのか楽しみです。もつと色々なことを吸収して人のために何かできる優しい人になれるように日々がんばっていききたい。不安ばかりだけど、自信を持って色々なことに挑戦したい。

(介護職 Tさん)



# パンケーキパーティー

## ショートみどりい



ええ具合に焼けたかね!?



(仲嶋 美保)

3月11日(火)に少し早めのホワイトデーということで、みどりいでは皆さんと一緒にパンケーキパーティーを開催しました!!ホットプレートでパンケーキを焼き始めると、「まだか、まだか」「もういいんじゃないか」とみなさんそわそわとされて、目を輝かせながら焼けるのを待っておられました。片面が焼けたらフライ返しで上手に返され、パンケーキの甘い香りが漂ってきました。

パンケーキが焼けたら次は好きなトッピングを選んで盛り付けを行いました。生クリームやチョコなどを盛り付けて、おいしそうなパンケーキの出来上がり♪「おいしー」「甘いよー」と完食!! 甘い香りと皆さんの笑顔にあふれた楽しいパンケーキパーティーとなりました。



自分で作ったパンケーキはサイコー!!



梅越しのべっぴんさん☆

(向井 明子)

つどいの家では少し早い春を感じようというこで、2月26日(水)梅見物にせせらぎ公園に出掛けました。せせらぎ公園には白やピンクの梅の花が七分咲きで、あたりには梅の香りがいっぱいでした。目と鼻で楽しんだあとは、味覚を楽しませる番です。公園の近くにある鉄板焼き屋さんに行きました。

ランチはお好み焼きです。お店の大きな鉄板で焼くお好み焼きはビッグサイズ! 「美味しいねえ」とアツアツのお好み焼きをほおばりました。

梅見物ドライブは五感を存分に楽しませる素敵な小旅行になりました。これから春をいっぱい楽しみましょう!



立派なんが咲いとるねえ!!



やっぱりアツアツは美味しいわ♪

# 梅見物ドライブ＆ランチ

## つどいの家

「春の宴」 ～桜コース～

まやるちよーく

まやるちよーくでは、3月30日(日)に神田山荘へお花見に行きました。天気予報では雨でしたが、皆様の願いが通じたのか?朝まで降っていた雨が上がりました!神田山荘までの道にある桜も満開で「きれいじゃね〜!」と利用者の皆様も車中から桜を眺めておられました。神田山荘に着いてからは、ノンアルコールビールで乾杯し、春の宴が始まりました♪

握り寿司やうどん、茶碗蒸しなど盛りだくさんの豪華なお食事を頂きながら、まやるちよーく民謡講師の正木先生によるステージを楽しみました。『炭鉱節』『音頭の舟歌』『花笠音頭』



桜の下では、チーズ☆



正木先生も踊ります♪

皆様、正木先生の透き通った張りのある歌声や踊りに聴き惚れ、見惚れていました。職員も飛び入り参加しながら!の楽しいステージとなり、桜満開!笑顔いっぱいのお花見となりました。

利用者様から「花見は毎年楽しみにしてるんよ」「本当に楽しかった。ありがとうね」などうれしい感想をたくさんいただきました。私たち職員も、利用者の皆様と一緒に楽しめる事を本当に嬉しく思っています。次回は「春の宴」～バラコース～です!参加される方は楽しみにしていて下さい☆

(阿川 愛美)



この方が村長さん♪

村長と一緒に!!

職員も一緒に『炭鉱節』♪

素敵な作品をご紹介します!

作品介绍

しゅりあちよーくの利用者様の作品です。タイルモザイク、絵画と丁寧に仕上がっています。一つひとつ丁寧に色づけや配色がなされていて、見ていて心が温まる作品ばかりですね。



佐々木和枝様



伊藤ヨシコ様

しゅりあちよーく



白土春枝様



木村マス工様



料理の達人で賞を受賞!!



べっぴんで賞を受賞\*\*



べっぴんで賞を受賞☆

# 素敵なお雛様がいっぱい!!

シヨート

いわや

いわやのひな祭りのお祝いイベントは3月10日(月) 雛祭りコンテスト☆この日は女性の利用者の方みなさまにお雛様になっていたいただきました。お化粧をしている最中は、「恥ずかしいのう」「照れるのう」と言いながらも、だんだんきれいになるにつれ、「あんた綺麗じゃねえ」「あんたも綺麗よー」という言葉に変わっていききました。

職員からのお祝いのメッセージをお渡ししたあとで、みんなひなあられと甘酒を頂きました。いわやの桃の節句、女性がみんな素敵に輝いた1日でした。

(村本 雄飛)

# 落語演芸会

2月のしゅりあちよーくのイベントは落語演芸会。温々亭眞喜子さんと寿楽亭こぶしさんの登場でした。

音楽と共に着物姿に扇子一本持つて高座に座られたところから、利用者様がワクワクされている空気が伝わってきました。温々亭眞喜子の題目は、頭の良い男が商人をだます『壺算』です。一文一銭、一荷二荷と私たちには耳慣れない単位のお金のやり取りで、ややこしく「え?どうして?」と頭がパニックになりましたが、利用者様の中には「面白かったよ」と謎が解けた方もおられました。



温々亭眞喜子さん



みなさん聞き入っています!



(服部 淳子)



寿楽亭こぶしさん



しゅりあちよーく

うで、皆さんも「そばが食べとうなつたよ」と言われていました。

プロ顔負けの落語に皆さん大満足でした。皆さんの笑顔と「またいつでも呼んで下さいね」と嬉しい言葉を残して帰られたお二人の優しさで、しゅりあちよーく演芸会は幕を閉じました。

**第61回**  
**あすか**  
**交流会**



日時：3月29日(土)  
場所：ポシブルみどりい

先日の交流会には18名の方がご参加くださいました。

今回のテーマの『高齢者の在宅生活を支える』く介護保険の動向について、支援事業所所長の三原がお話させて頂きました。内容は大きく分けて3つでした。1つ目は地域包括ケアシステムについて、2つ目は平成26年度の介護報酬改定と今後の動向について、3つ目は当法人小規模多機能型サービス「つどいの家」で生活をされることで元気を取り戻された方の事例の紹介をさせて頂きました。

地域包括ケアシステムとは、たとえ障害や認知症のために介護が必要になっても、医療が必要な状態になっても、住み慣れた地域で安心して自分らしい生活を實現するためのシステムです。そのためには医療と介護の連携が必要不可欠になっていくと共に、地域社会全体で介護が必要になった方を支えていくことが必要となってきます。私たちの暮らす安佐地区でも地域包括支援センターや医師、ケアマネジャー、看護師、リハビリ職、介護職等、多職種で協力し合つてこのシステムの構築のための取り組みが進められ

ています。

2つ目は4月からの消費税8%への引き上げに伴い、サービス利用料への上乗せと区分支給限度基準額の引き上げがなされたこと、今後の介護保険の動向として、費用負担の公平化を図るために、一定以上所得者の利用者負担の見直し、ショートステイや特別養護老人ホームなどの入所施設の利用時の食費及び、滞在費の本人負担額の減額制度に資産等が勘案される予定という内容の話でした。

3つ目は足の骨折のために歩くことができなくなり、意欲がなくなっていた方が、退院と同時につどいの家を利用し始めた事例についてです。生活のリズムを整え、日常生活の動きや、皆で楽しみながら行うゲームの中でリハビリを行った結果、元気になられました。

その後、参加された方と職員が4つのグループに分かれて、地域の支え合いの現状や介護の経験談など和気あいあいとした時間を過ごされました。皆さん、閉会後も名残惜しむかのように、グループの方とお話しを続けておられました。

これからも多くのご家族が参加して頂ける交流会を企画していきます。皆さんお忙しい中、ありがとうございます。次回もぜひご参加下さい。

(支援事業所 介護支援専門員 松本勝幾)

**わたしの好きなもの 第五回**



くよちよ 様  
まよし 吉崎 様  
【活動写真】

※活動写真とは・・・明治、大正期における映画の呼称。無声映画であり、弁士と呼ばれる人が、上映中に内容を語りて表現し解説していた。

私が小学校6年生の頃、家の近くに映画館があつて、そこに友だちのお母さんが下足番(お客さんの履物を預かったり管理する仕事)をしていたから、よくその友達と観に行つていたよ。「入りんさい」とタダで入れてくれていたから、「っっそり見ていたよ。(笑)」

でも、学校の人に見つかる時もある、先生に告げ口されて怒られた事もあつたよ。(笑)その頃は、映画館に入つてはいけなかったからね。私は時代劇が好きでね、『忠臣蔵』とかを観たよ。今でも時代劇は好きだよ。『水戸黄門』おもしろいね。(笑)

皆さまは、「活動写真」をご存じですか? まよちよくご利用の吉崎様は、小さい頃、お友だちと一緒に活動写真を観に行く事が楽しかったとお話してくださいました。今回は吉崎様の活動写真についての思い出をご紹介します。

大人になつてからは、映画を観に行く余裕はなかつたよ。家庭を持つて、忙しかつたからね。私は小さい時に両親を亡くして、兄弟は離れてそれぞれおばさんの所に引き取られたんだよ。私は山口の下松だつたね。子どもがいないおばさんだつたから、厳しい人だつたね。でも私も負けてなかつたよ(笑)おてんばだつたね。



吉崎様は今年で99歳になられる、まよちよくの大先輩です。笑顔がとっても素敵で、職員や利用者様は吉崎様が大好きです! これからもまよちよくで一緒に楽しくすごしましうね。よろしくお願ひします!!

(阿川 愛美)



# 「ハビリティ・デイ・クリニックウオーク」

「あのマンサクをもう一度見たい」



その8



健康運動実践指導者  
高柿 美恵

Hさん(男性) 77歳 要支援  
1)は、脳梗塞で退院後リハビリのため、あちこちの施設を探され、結局

しゆりあちよーくが一番自分にあっている、昨年の7月から通所され始めました。私たちはHさんの前屈みで小刻みなすり足歩行に着目し、先ず姿勢改善と歩行安定を図ることを目標にリハビリサポートを開始しました。

まもなくHさんはノルディックウォークをやりたくと希望しノルディックチームへ参加されることになりました。その日、Hさんは普段のもの静かで読書好きの人というイメージをがらりと変身させ、相当履き込んだトレッキングシューズで私たちの前に現れました。「あらまー、登山が趣味ですか」と質問すると、「高い山を登るよりも草花を探して歩くトレッキングが好きです」とこともなげに応答し、かつて趣味で沖繩から北海道までの日本列島縦断の草花トレッキングをされたことを話されたのです。ともかくHさんはチームに加わり、2本のポールを持って少しきこえない歩きをしながら近隣公園コースへと出発したのです。

公園の奥の雑木林へ近づくと、突如Hさんは近くの樹木を指して「ここにマテバシイ、アラカシ、シラカシの三種類の木があります」などと樹木解説を始めたのです。すると、「まるで大学の先生みたいや」とか「教授じゃね」などと声がかかり、Hさん



はずっかりチームに溶け込んでいました。

以来、ノルディックチームはHさんの一木一草の解説で盛り上がり、「歩く楽しみ体験」のウォークのようになりました。

その晩秋、毘沙門天の参道コースで深紅に染まる山紅葉を見た後小休息している時、Hさんは「ほつりとあの花をもう一度見たいね、でも無理だね」と感慨深くつぶやいたのです。Hさんがもう一度見たいと言う花は中国・四国地方の山林に自生する阿哲満作あてつまんさくという準絶滅危惧種に指定されているマンサクの花のことです。冬枯れの殺風景な崖のような場所で黄金のように輝いて咲く阿哲満作の花。それは、おそらくHさんの日本列島縦断草花探訪の始まりとなった花かもしれませぬ。「いやあ〜すごい。大丈夫、次の大きな目標ができましたね、さあ歩きましょう」と声かけをすると、Hさんはそろりと腰を上げ、ゆつくりと歩みを前に進めました。

以上がこのシリーズ8回目ノルディックウォークの現場報告です。手探り状態で進めて来たノルディックウォークの取り組みですが、何しろ、介護施設におけるノルディックウォークの位置づけ、役割・機能・効果など不明な点も多くあり、まさに手探りです。その意味で、唯一のヒントを得るためには先ず現場のリアルな状況の収集整理が大事であると考え、このような連載を書かせてもらっている次第です。

## ～ 医療法人あすかの経営理念 ～

### 『 感謝 尊厳 謙虚 誇り 』

医療法人あすかは、地域の患者様、利用者様との出会いに感謝し、信頼される法人として常に最善の医療、看護、介護を提供することを使命としています。私たちの仕事は、人の尊厳を守り、人の人生によりよい影響を与え、支えていくことです。私たちは、心を込めて仕事をします。私たちは謙虚であり、仕事に誇りを持ち、社会に貢献していくことを喜びとしています。



#### 医療法人あすかの医療・介護関連施設

緑井3丁目20-1

あすか居宅介護支援事業所

082-830-5177

リハビリデイ・ポシブルみどりい

あすか病児保育室

児童デイサービス ばる

緑井2丁目12-25

高橋内科小児科医院

デイサービスセンター まやるちよーく

通所リハビリテーション すてっぷ

ショートステイ みどりい

小規模多機能型居宅介護事業所 つどいの家

毘沙門台東1丁目24-16

デイサービスセンター しゆりあちよーく

デイサービスセンター 野ばら

あすか療養センター 緑井3丁目40-30

毘沙門クリニック

ショートステイ いわや

デイサービスセンター 野の花

【編集者のつぶやき】  
行ってきました!!お花見♪だがしかし！桜も散り始め、天候もあまりよろしくなく、雨も降り、風も吹き、とっっても寒かったです。でもでも、せっかくだし、年に1度ぐらいはと思い参加。準備万端のところへ飛び込んだので、とっても楽しかったです☆計画・準備・片付けをしてくれたみんな、ありがとー!!また行こ!